

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



2011年
11月号

目次

- ☆きょうされん大会報告1 .. 2
- ☆きょうされん大会報告2 .. 3
- ☆きょうされん大会報告3 .. 4
- ☆追悼文1 .. 5
- ☆追悼文2 .. 6
- ☆区民・ヒューマン祭り売上げ
報告・感想 .. 7~9
- ☆学習会・活動報告 .. 10
- ☆虫めがね .. 11
- ☆きょうされんデモ行進感想
・夕会 .. 12
- ☆岡本副会長連載 .. 13
- ☆小野塚連載 .. 14
- ☆和栗連載・スケジュール・
寄付のお礼 .. 15
- ☆編集後記 .. 16

計 報

紅葉の季節を迎えましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。
風の子会において在籍されていました、立石 豪さんが、
平成二十三年十月二十一日に逝去されました。
ここに慎んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈り申し上げさせていただきます。
尚、編集・日程の都合上、
立石さんの追悼文は次号掲載させていただきます。

風の子会一同

巻頭文

爽やかな秋と言いたいところですが、今年の日本は、大地震 大津波、猛烈に強い台風が、二つとも本州を縦断 強風と大雨では、多くの尊い人命と家や財産を一瞬にして失ってしまつた。天災は人の力ではどうすることも出来ないが、過去の我が国の歴史を見ても、大規模な、火山の噴火、地震、津波、台風 大雪、落雷、竜巻、これらはみんな自然現象で、昔から人の力ではどうする事も出来ない、これを天災と言つて恐れられてきたのだ。だが、今の科学の発展に伴い、それらの予測が少しづつ可能になってきた。更なる発展と共に被害者が少しでも減る事を切に願う。

和栗 頭太郎



旅行報告



今年の旅行は九月三日・四日で、両日「箱根」のお天気は、二日間ともあいにくの雨。しかしバスの中は雨を吹き飛ばすような熱気むんむん、そして三時頃旅館に着いて早速お風呂に入れてもらいました。お風呂が済むと、夕食です。もの凄く量があつて食べきれない程でした。お部屋に入ると今年はボランティアさんは丸岡君と中山さんでした。丸岡君はとても懐かしい気がしました。そして、いつも旅行の僕の定番通りに、ウイスキーをお部屋で飲みました。今年、僕の旅行にしては早く寝ました。

丸岡君は久しぶりに会って、その後の風の子会の様子などを話しました。

明るく朝も天気は雨で、途中水族館に寄りましたが、案外僕は魚を見るのが好きなので、とても勉強になりました。今度の旅行はいつもに増して楽しい旅行でした。それはどういう訳かという、丸岡君と久しぶりに再会できたからです。

最後になりましたが、旅行に来てくれたボランティアさん、職員さん、本当にありがとうございました。

太田 稔

旅行感想2

風の子の一泊旅行に初めて参加で、雨降りで、非常に残念でしたけれども、ゆっくりと水族館の見学ができた、ゆっくり温泉に浸かれたり、夕食もゆっくりとでき、皆さんのすてきな歌も聴くことができ、とても楽しい一時を過ごすことができました。

部屋では一杯飲みながら過ごすことができました。ありがとうございました。

また、参加したいと思っています。

渡辺 三恵子



風の子旅行感想記

平成23年9月

9月恒例の『風の子旅行』今回は箱根行、ボランティアで参加しました。今年は台風12号の影響があり、実施が心配されましたが、前日検討の際、高浜作業所にいた皆さんの強い実施意欲に押され、決行が決まったそうです。

当日、集合時・海老名サービスエリアまで雨も降らず順調、箱根に近づくにつれ雲行きは怪しくなり、箱根では雨風強く、二日間ともバスの乗り降り、スクールとの戦いとなりました。苦労はありましたが、福祉バスの運転手・ガイドさんの奮戦により、無事、乗り降りをこなし、思い出に残る旅行となりました。ラリック美術館・箱根ビジターセンター・箱根園水族館、いずれもゆっくり見ることができました。ビジターセンターには、箱根全景の模型があり、全容を知ることができました、昔、芦ノ湖と千石原が一つの湖だったこと、理解できました、ありがとう。箱根高原ホテルでは、温泉・食事・カラオケ・部屋での二次会、例年のごとく楽しいひと時を楽しみました。

私、ボランティアとして三回目の参加、食事・入浴・トイレのお世話にも慣れ、自信もついてきたところです。今回、気が付いたことですが、入浴の世話をしている時、障害者の方が、『気持ち良い・気持ち良い、ありがと、ありがと』と、世話しているほう、いい気になって『ゴシゴシ、』このやり取りが、気持ちよく、感じられました。障害者とボランティア、一方通行にならないコミュニケーション、大切なことと、思いました。

最後に、帰り箱根新道を下ると、雨は降っておらず、快適なバスドライブ、海老名サービスエリアの乗り降りも楽、定刻に都立社会福祉会館に到着、解散式も無事終了、さて送迎車で帰宅へ、その瞬間、スクールが、バシャバシャっと、今回の旅行、『落ち』までついていました。

小野塚 満郎



旅行報告

9月3日と4日、風の子会のみんなで旅行に行きました。場所は神奈川県箱根です。みんなはバスに乗って出発しました。僕はライオンキャブで向かいました。

最初は箱根彫刻の森でお昼ご飯を食べました。その日は大雨でした。旅行の予定が変わりました。箱根ラリック美術館に行きました。そこには虫や宝石等が展示してありました。箱根高原ホテルに着いた時間は3時20分でした。僕は岡本さんと一緒に温泉に入りました。気持ちよかったです。それから、宴会が行われました。お料理はお刺身、栗のにこごり、トマト風フタ鍋です。大好きな白いご飯も食べました。おいしかったです。カラオケもやりました。大好きな人と歌いました。幸せでした。部屋に戻りました。それから、寝ました。


日曜日も大雨でした。朝風呂に入りました。いい気持ちでした。6時に起きました。下に降りてからレストランで朝ごはんを食べました。僕は和食を選びました。みんなはバスに乗って出かけました。みんなでビジターセンターへ行きました。そこにも虫が展示してありました。水族館に着いた時間は11時30分でした。そこでお昼ご飯を食べてから魚を見に行きました。ボス(所長)が大喜びでした。僕が一番嬉しかったのは大好きな人と歌を歌ったことです。

本当にありがとうございました。

来年も参加します。


柳川 敬事






色んな意味で皆が皆
住みやすい街にしてい
って欲しいです。

田村 亮彦



虫めがね

国会議員に
一言



今の国会議員は、国民の事を
真剣に考えてくれているのか疑
問に感じるのは僕だけでしょ
うか？というの是一年ごとに首相
が変わり政策もころころ変わっ
て与野党アシの引つ張り合いで
（何を）誰を信じていいのか・
・。このような状態が続くと
外交に響く事は否めません。お
願います。国会議員の皆さ
ん政局の事より政策を優先して
ください。今年日本が未曾有
の大地震に見舞われて多くの国
民が生活に困っていることを忘
れないでください。

三木 直人

新首相の所信表明演説をテレビ
で見ている、驚きました。今まで
の首相の所信表明演説より、会場
にいる議員さん達のヤジが多くて
あまりよく首相のお話が聞こえな
かったからです。国民から選ばれ
た議員さん達が、どうして人の話
を聞かないでヤジりまくるのだし
ょうか。人はそれぞれ考え方や思
想が違うのは分かりますが、自分
の意見を述べたかったら、ああ
いう場所ではヤジらないで委員
会とかで自分の考えを述べれば
良いのではないかと思いました。



太田 圭子

九月七日 午後、健康診断を受ける者が多数いたため、ビデオを観覧する人・パソコンを打ちたい人に分かれ過ぎました。

十四日 障害者保健福祉センター＝ヒューマンぶらざの六階体育館をお借りして二手に分かれての競技をしました。一つは野球を・一つはサッカーをしたのですが、どういうわけか人数が偏ってしまい一方が盛り上がり、もう一方が沈んだ雰囲気になってしまいました。

二十一日 テーブルゲームを・・・



二十八日 葛飾区にあるプラネタリウムを観覧しに行く予定でしたが、プラネタリウム館が工事に入るという事でしたので予定決め（十月～十一月分）に変更しました。

三木 直人



活動報告



9月14日水曜日。ヒューマンプラザへ行きました。そこで運動をやりました。僕は田中先輩達と野球をしました。ポスがはりきってました。僕はバットでボールを打ちました。うまくできました。大好きな人はサッカーをやってました。楽しかったです。

9月21日水曜日。風の子のみんなでテーブルゲームをやりました。僕は田中先輩達とオセロゲームをしました。僕は太田さんに負けました。次は勝ちです。

柳川 敬事



毎年健診を受けましょう！

日本の三大生活習慣病と云われる心臓病・脳卒中・糖尿病の兆候は、健診の結果には表れますが自覚症状はありません。罹ってしまったからは重い後遺症が残ることもあります。毎年健診を受けて早期発見をし、生活改善などで予防しましょう。その他の病気も早期発見、早期予防、治療が大切です。健診を受けて、自分の健康状態を知りましょう。

健診後は個別に検査結果は手元に届きます。又、医師等から結果説明もあります。健診は受けて終わりではなく結果を生活にどう生かしていくかが、大切なことです。検査結果をしっかりと受け止めましょう。

検査結果の判定・指示について

異常なし・・・今回は異常なしと云うことです。毎年受診しましょう。
異常有り・・・（要・・・指導、経過観察や再検、精密検査・治療）

これは異常の程度により、適切な指導を受け生活習慣を見直したり予防に心がける。又、再検査や精密検査を受けて病気の前兆なり、病気を早期発見して治療を受けましょうと云うことです。

一般的な健診の項目について

胸部X線検査・心電図・血圧・尿・血液・身長と体重測定・医師の診察。
*尿や血液検査では腎機能・肝機能・血中の（糖、脂肪）・貧血や炎症などの有無等が診られます。

年齢別・性別により、胃・大腸・子宮・乳・喉頭などのガン検診もあります。どこの地域でも地域民を対象に様々な健診が行われています。

港区では40歳以上を対象に、無料の区民健診が行われています。（例年8月～11月まで）

年に一回はこのような機会を利用して是非受けましょう。

これからの季節、例年インフルエンザが流行しています。早めに予防接種を受け免疫をつけておきましょう。体に免疫が出来るまで少し時間がかかります。10月に入ったらすぐ受けるようにしましょう。

岸田 貞子



今年の9月11日
（土）・12日に
芝学園で商品を販
売し売上総額は
58,050円
でした。
皆様のご協力あり
がとうございまし
た。

幸 高史

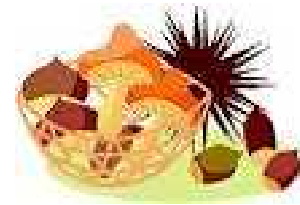
芝学園
売上げ報告

夕会便り

九月十日【区民まつりの第3テントについて】



福祉部会で利用される、三つ目のテントの使い途について、話し合いました。その結果、バザー品（ネクタイやハンカチなどの小物の）や古本を販売をすること、風の子会三十周年記念DVDを流すことに決まりました。



九月二十四日【クラブ活動について】

前々から何回にわたり、クラブ活動について議題化されてきましたが、今回の夕会では、日にちと時間が決まりました。日時は、十一月二十六日（土）午後三時～五時まで行われることになりました。内容については、個別でクラブの時間で何をしたいかを紙に書いて、後日所長の岡本さんから発表があるそうです。



田中 聡



寄付を下さった方
美馬貴志様

賛助会にご賛同して下さった方
山本セツ子様 阿部りょう子様
雨宮蓉子様 渡辺美恵子様

寄付のお礼



風の子便り連載

バリアフリーよもやま話 第4回 「見えない、聴こえない」

障害のある方の中には、いくつかの障害を抱えている人もいます。そのなかで、視覚障害と聴覚障害を重複する場合は「盲ろう」といいます。日本の盲ろうの人は約2万2千人とされています。見えなくて聴こえないというのはとても大変だろうと思いますが、社会で活躍されている方は何人もおられます。ヘレン・ケラーは有名ですね。盲ろうの東大教授の福島智さんをご存知の方もおられると思います。福島さんは9歳で失明、18歳で聴覚も失って盲ろうとなりましたが、がんばって大学に進み、博士号を取って、昨年東大の教授になりました。大阪の門川紳一郎さんも大学に進み、アメリカの大学に留学し、現在は大阪の盲ろう者施設の理事長をつとめておられます。先天性盲ろうの森敦史さんは今年ルーテル学院大学に合格し、大学生活を楽しんでいます。本人の努力と多くの人の支援が実っています。

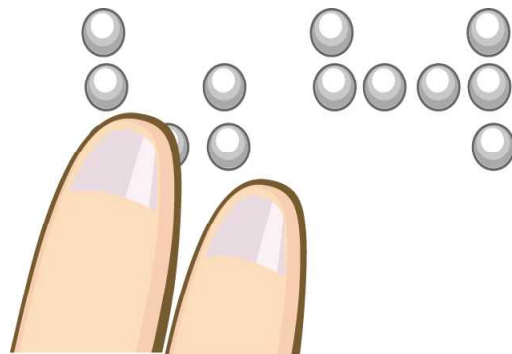
盲ろうの人はいろいろな情報の取得に制限があり、とくに重度（全盲・全ろう）の場合はその手段が触覚に限られます。コミュニケーション方法には、手話を触って読み取る「触手話」、点字を盲ろうの人の指の上に打つ「指点字（写真）」、掌に文字を書く「手書き」があります。点字を紙テープに打ち出す「ブリスト」という機械も使われます。視覚か聴覚が少しでも残っている場合には、大きな文字での「筆談」や耳元での「復唱」があります。いずれも1対1の通訳者が必要です。



指点字は、福島さんのお母様が息子の智さんと何とか話したいと願って考えだされたものです。点字は6つの点でカナ一文字を表しますが、これを左右の指6本の上に打つのです。日本では多くの方が使っています。素晴らしい発明ですね。写真はこの指点字での通訳の様子です。熟練した人だと、人が話すのと同じくらいの速さで打つことができるそうです。

盲ろうの人は、得る情報の多くを通訳者に依存しています。通訳者は相手の話のほかにも、周囲の状況などをできるだけ多く伝える努力をしていますが、すべては伝えられません。福島さんはこれを「コマ落としビデオや、テレビのチャンネルを勝手に切り替えられてしまうような状態の中での生活」と言っておられます。盲ろうは単に視覚と聴覚の二つの障害が重複しているのではなく、見えない、聴こえないという状況から生み出される1+1=2以上の別の困難さがあるのです。

日本では「盲ろう」という障害分類はまだ法的には認められていませんが、これを独立した障害として認定すべきであるという運動が進められています。



岡本 明

わたるのドミトリーライフ

【ドミトリーとは英語の dormitory つまり寮という意味】

第40話 3度目の夏合宿（前編）

夏のゼミ合宿も3度目となったこの年。今回はいつものように小田原駅集合という参加形式ではなく、仲間内で車で直接合宿先の青部に行こうという話が持ち上がり、僕もそれに乗った。言い出しっぺはタイキとフクマで、そこにカイリとマキと僕が加わったという形だ。合宿前日にタイキがレンタカーを借りて寮に来て、僕とマキを拾ってタイキの実家のある秦野へと向かう。秦野は、寮と合宿地までのちょうど中間的距離にあり、そこに前泊して翌朝に合宿地へ向かおうという計画だ。「青部での飲む酒とかも買っておかなきゃな」「青部は原則自炊だから、食材も買っておかなきゃね」「ってことは、俺らは食材運びの役も担っている訳か？」「そういうことになるな」東名高速から流れる景色を眺めながら「まあ、3度目の青部だし、気楽なもんだ」と僕は呟いた。

秦野でフクマとカイリと合流し、近くのスーパーマーケットに向かう。合宿での自炊用の食材と酒とつまみを大量に買い込む。「参加者が20人強だっけか？ 相当に買い込まなきゃだよな」肉や野菜、ビールなどを籠に無造作に放り込みながらカイリ。「あんまり適当に選ぶなよ。割り勘とはいえ限度額ってものがあるんだからな」神経質そうな眼鏡越しに言うフクマ。「まあでもOBの参加も多いし、そんなに気にすることもないんじゃないかね？」そんな風にして買い出しを終え、タイキの家へと向かった。

「明日は早い出発なんだから、早めに休もうぜ」言いつつも、誰とはなしに缶ビールを開ける。「ま、寝るのはドライバーのタイキだけってことで」「かんぱーい！」「つまみも2, 3袋あげようぜ」「・・・ったく、深酔いはするなよ」そうして5人で缶ビールを重ねる。「・・・まさかゼミにこんなに同学年が残ってくれるとはなあ」マルボロを啜えながらぼそっとつぶやく。「留年の経緯はずいぶん違うけどな」ニカッと歯を見せながらタイキは応える。「先のことは、何か考えてるか？」さり気なく訊ねてみる。缶ビールを右手から左手に持ち替えながら「うーん、ずっと学問を続けていきたいんだが、それだけじゃ食っていけないしなあ。どっかで折り合いをつけないといけないんだろうなとは思っている」さらっとそうタイキは返したけれど、自身についてや将来についての方向性を一定の尺度でもって真剣に見つめているのだろう、ということに改めて思い知らされた気がした。

翌朝。皆それぞれに身支度を整えて車に乗り込む。東名高速を経て静岡に入り、大井川沿いのゆったりとした田舎道を走る。大井川や大井川鐵道を左手に見ながら青部の合宿先を目指す。「みんなよりも、ちょっと早いかな？」「予定通りなら、30分くらい早いってとこか」木々の合間をかき分けるように進むと、セミナーハウスが見えてきた。

小学校を改装して造られたそのハウスは、外観は小学校そのものだ。校庭もそのまま残されていて、運動場や砂場も見える。「あ！ ブランコ発見」言いながらマキが飛び乗る。「落ちるなよ」「わかってるって」大きくブランコを揺らすマキを見ながら、何だか小学校時代に戻ったような気がした。学校そのままの佇まいが、そういった気分を助長させたのかも知れない。

～ 後編につづく ～



病気のことはこれくらいにしておこう。
僕が「風の子会」を今でも夢中にさせているのは、職員さん、ボランティアさんがいい人たちだからである。大体よい作業所というのは、いい職員さんがいるものだと言われているが、僕もそれはそう思う。それはともかくとして、僕が母に教えてもらった勉強の中でもっとも難しかったのは「小数点」。ここで僕は初めて整数一以下の数字があることを知る。僕は母とよくけんかをしたものである。何故けんかをしたかといえば、子供の頃は、数字の一以下はないと思っていたからである。だから母とはよく勉強のことでけんかしたものである。

僕の生い立ち
第九話

太田 稔



スケジュール

十月二十二（土）～二十三日（日）

・・・きょうされん大会

十二月二十七日（火）～一月五日（木）

・・・冬休み



編集後記

会報に連載をさせてもらっているドミトリーライフも始まってから5年が経ち、40話を越す長期連載となってしまいました。起承転結でいえば、転から結に差し掛かったあたりという感じです。話の着地点は連載当初からイメージしていましたが、どのようにそこにランディングするかが今の悩みどころです。ずっと読んでくださっている方々、感想や意見などありましたら、以下のアドレスにメールしてください。必ず返信しますので。

zuka-wind-2010@taupe.plala.or.jp
小野塚 航

僕とおふくろには
従姪がいます。名前
はまかちなんと
いまから僕の家
はまかちなんと
いまから僕の家
遊びに来ます。家
いとこは経理を
やります。まかな
がわりのアキショ
はかわいいです。
はまたこれから頑
張りますのでよろ
しくお願いします。
松本恵司

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ～定価40円～

編集者
太田圭子
小野田
松本聡
右田恵司
吉田
柳川
代理

太田 彦
佐久間 亮
田村 直
三木 人
幸栗 史
和栗 郎

編集人：【高浜生活実習所】
生活介護、就労継続支援B型

〒108-0075
東京都港区港南1-1-27 カナルサイド高浜3階
TEL 03(3474)9674 FAX 03(3474)9213

ブログ：<http://kazenokokai.blogspot.com>

発行人：障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区砧6-26-21

